

平成25年度 決算

議会からの要望事項

平成25年度決算を認定するに当たり、市長に対して10件の要望を行いました。

1 職員研修について

多くの職員が研修を受講した後、自己啓発だけで終わるのではなく、仕事に対するモチベーションを高め、職場の活性化を図ること。

2 定住促進事業について

長期的な視点から、継続的に取り組むことにより成果が現れてくるものと考え、もつと行政として積極的な対策を行うこと。

3 魅力あるまちづくり交付金について

各地域の状況に応じた課題解決や特性を生かしたまちづくり活動を支援するため、「魅力あるまちづくり交付金」を使つての事業には地域差が生じている。所期の目的が達成された後、活動交付金については、見直しを図ること。

4 福祉バスの市民へのPRと利用促進について

今後ますます高齢化が予測されるなか、高齢者・健常者・障がい者が分け

隔てなく生活することを目指す「ノーマライゼーション」の普及・促進、そして「福祉都市笠岡」を推進する一環として、福祉バスの利用促進を図ること。そして市民に対して福祉バスの広報を積極的に行うこと。

5 分別収集の業務委託について

従来、分別収集業務については、1業者に委託していたが、今年度は不測の事態により一時的に直営で行つた状況があり、市の業務に影響を及ぼした。

今後、リスク回避や市内業者参入のハードルを下げ競争原理を働かせるなど、市民生活への影響及び市職員の通常業務に支障をきたさないように考慮すること。

6 国民健康保険事業について

国保財政を取り巻く状況を市民に正確に伝え、市民と情報を共有した上で、市民・行政の各担当課が一体となり、健康寿命の延伸による医療費の抑制や介護予防に努め、国保税の負担増をできるだけ招かないように努力すること。

7 笠岡市地域包括支援センターの個別相談場所の確保について

センターへの相談を希望する人達が増加しており今後とも減る状況にはない。しかし現状では、相談する場所数に限りがあり、センターの入り口付近で相談を行うことがある。本人や家族が安心して相談できるように、個別の相談場所を確保するように働きかけること。

8 耕作放棄地活用型モデル産地育成事業について

荒廃農地の位置地図作成について、耕作放棄地の管理指導と今後における対策として、後継者問題や放棄地利活用についての積極的な指導を推進すること。

9 商店街振興事業について

イベント等の単発的な振興施策と共に、恒久的な振興施策を進め、賑わいのある駅前地区の活性化を図ること。

10 道路新設改良事業について

繰越明許が多く見受けられるので、用地取得問題の円滑な対応と国からの補正予算に伴う道路整備事業を有効に進めること。